

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 275 号	氏名	Sameh Abdel-Raouf Ahmed
学位審査委員	主査	黒田 直敬	
	副査	中島 憲一郎	
	副査	中山 守雄	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、薬理的及び毒性学的な観点から重要な化合物であるキノン化合物を対象として、これらの選択的かつ高感度な化学発光計測法の開発を目指したものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>高速液体クロマトグラフィー／化学発光検出法にオンライン紫外線照射装置を導入し、キノン化合物の紫外線照射に対する特徴的な反応を解明・利用することでキノン化合物の選択的な分析法を確立し、生体及び環境試料分析への適用性及びその性能、実用性を解析・評価したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で開発した分析システムを用いることで、血液中のキノン骨格を有するビタミンK類や抗がん剤及び大気粉じん中のキノン化合物の選択的かつ高感度な計測が可能となり、今後の臨床検査や環境汚染評価への展開が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は分析化学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			